








防災マップ



写真：五葉山

 はじめに	1	 備蓄品および非常持ち出し品	7
 警戒レベルを用いた避難情報	2	 わが家の「緊急・救急情報」防災メモ	8
 防災気象情報	3	 避難施設一覧	9・10
 土砂災害について	4	 住田町全体図	11・12
 洪水・浸水害について	5	 住田町防災マップ	13～34
 地震対策について	6	 気仙川・大股川浸水想定図	35～38
		 情報の伝達ルート 他	巻末

町民のみなさんへ

災害は、いつ、どのように起こるか予測がつきません。ご家庭の災害への備えは、大丈夫でしょうか。

近年、日本各地では、地震や土砂災害、洪水など大きな災害が多発しています。本町でも、平成23年3月の東日本大震災や、平成28年8月の台風10号など、近年に限っただけでも、大きな災害がたびたび発生しています。

突然起こる災害から、自らを、そして地域を守るためには、町の防災対策などの「公助」、自主防災組織の活動などの「共助」、ご家庭の対策などの「自助」が互いに連携し、地域防災力を強化させることが重要となります。

また、「自助」においては、一人ひとりの防災意識を高めていただくことが大切です。具体的には、災害に備えて、災害対策の知識の習得や災害時に備えた準備、そして地域の危険箇所をあらかじめ把握しておくことなどです。

今回作成した防災マップには、大雨による洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域のほか、約1,000年に1度の大雨を想定した洪水浸水区域を掲載しています。また、避難場所、災害の種類に応じた防災情報なども掲載しました。

自らを、そしてご家庭を守るため、この防災マップを保存版として、いつも目の付くところに備え、各ご家庭で防災についての話し合いなどにご活用いただければ幸いです。

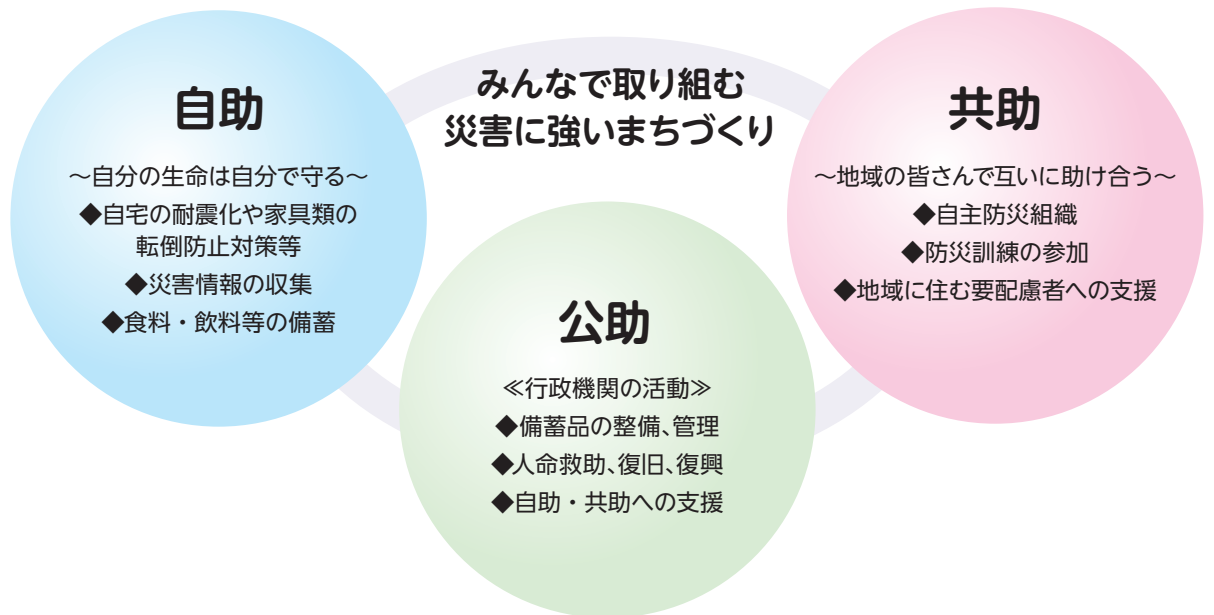
住 田 町

地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風等の自然災害による被害を最小限に抑えるためには、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政の救助・支援「公助」の取り組みが必要です。

大規模災害時では、公助の機能に限界がありますので、「自助・共助・公助」が連携することにより、住民と行政が一体となって地域防災力を高めることが重要となります。

いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

<input type="checkbox"/> 家の中で一番安全な場所
<input type="checkbox"/> 家族一人ひとりの役割分担 ・安否確認、非常持出品・備蓄品のチェック、避難経路の確保、隣近所への連絡など
<input type="checkbox"/> 避難場所、避難経路 ・自宅と避難場所を確認し、マップに描き入れましょう ・避難経路を実際に歩いて確認しましょう
<input type="checkbox"/> 自宅付近の災害リスク、危険個所の確認
<input type="checkbox"/> 災害が起こった時の身の守り方
<input type="checkbox"/> 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所
<input type="checkbox"/> 要配慮者（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦など）のサポートと避難方法



！警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベルについて 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障がいのある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当 氾濫注意情報	———
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	———	———

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

**警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。**

**警戒レベル3 高齢者等避難**や**警戒レベル4 避難指示**で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。



(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

# i 防災気象情報

## 特別警報について

警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれ  
が著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

### ◆特別警報の発表基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

### 特別警報が発表されたら

- ❗ 尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ❗ 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ❗ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

## 土砂災害警戒情報について

大雨警報の発表中に、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象台から共同で発表されます。詳細な範囲については「危険度分布」で確認できます。しかし、特に警戒区域周辺にお住まいの方は、実際の周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、危険を感じたら、迷わず自主避難を行いましょう。



## 記録的短時間大雨情報について

大雨警報の発表中に、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測された時に、気象台から発表される情報です。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生の危険度が高まっているかを「危険度分布」も合わせて確認してください。



## 雨の強さと降り方

予報用語	時間雨量	人の受けるイメージ	人への影響	屋内	屋外の様子	運転中
やや強い雨	10～20	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	—
強い雨	20～30	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようなになる	ワイパーを速くしても見づらい
激しい雨	30～50	バケツをひっくり返したように降る	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
非常に激しい雨	50～80	滝のように降る(ゴォーと降り続く)				車の運転は危険
猛烈な雨	80～	息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感じる				

(1時間雨量：mm)

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

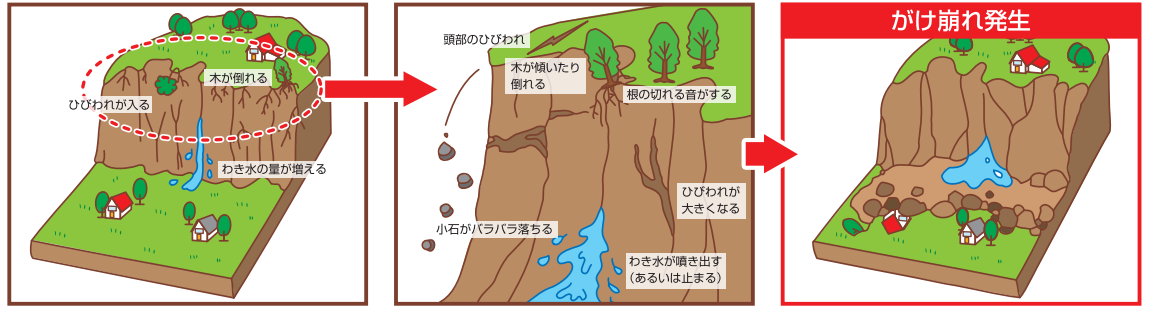


# 土砂災害について

## 土砂災害の種類

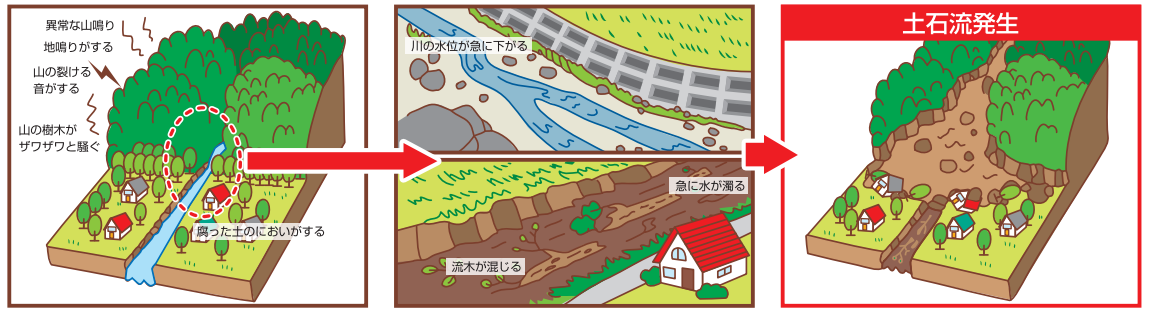
### がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



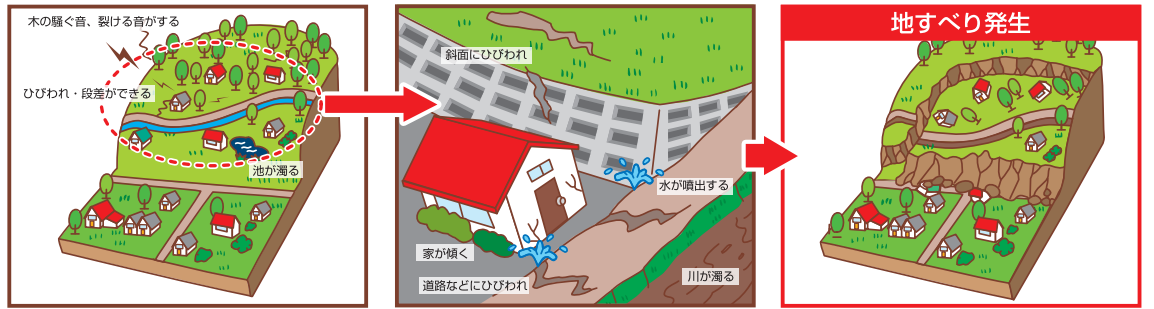
### 土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいので、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。

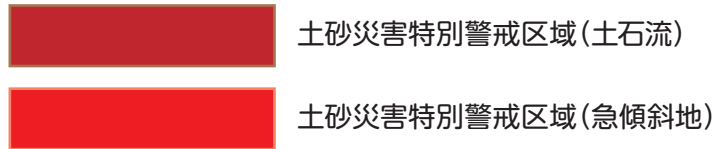


※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるといえるものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 土砂災害の警戒区域

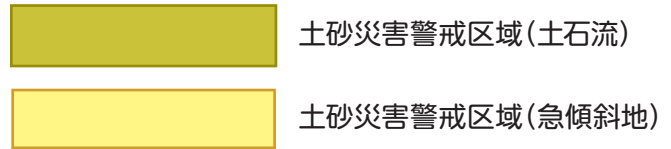
### 土砂災害特別警戒区域

○ 土砂災害特別警戒区域は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損害が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。地図ページでは次のとおり表しています。



### 土砂災害警戒区域

○ 土砂災害警戒区域は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危険が生じるおそれのある区域」です。地図ページでは次のとおり表しています。



## 避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。

上記の前兆現象は、経験則として土砂災害発生の前に感じられるものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

- 1 土砂災害警戒区域内、また指定が無くとも「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く退避する。
- 2 指定避難所までの移動が困難な際は、近隣の堅牢な建物の高層階へ避難する。



- 3 外出にも危険が伴う状況で、やむなく自宅に留まる場合は、2階以上の出来るだけ山側から離れた部屋に移動する。



# 洪水・浸水害について

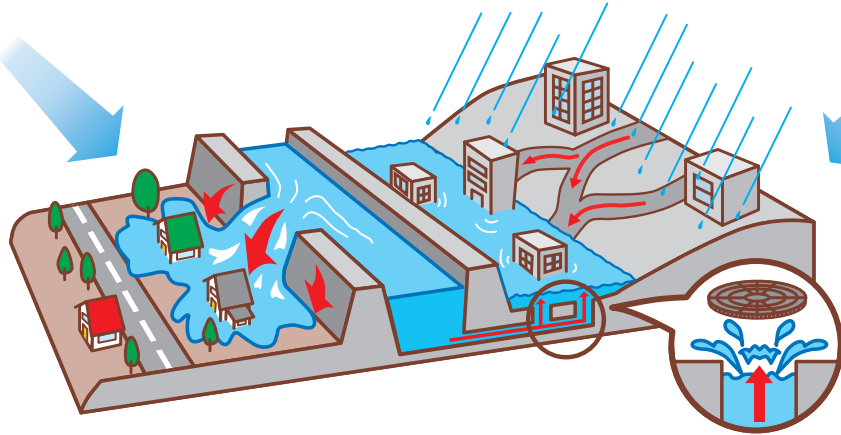
## 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

### 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防

を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要。



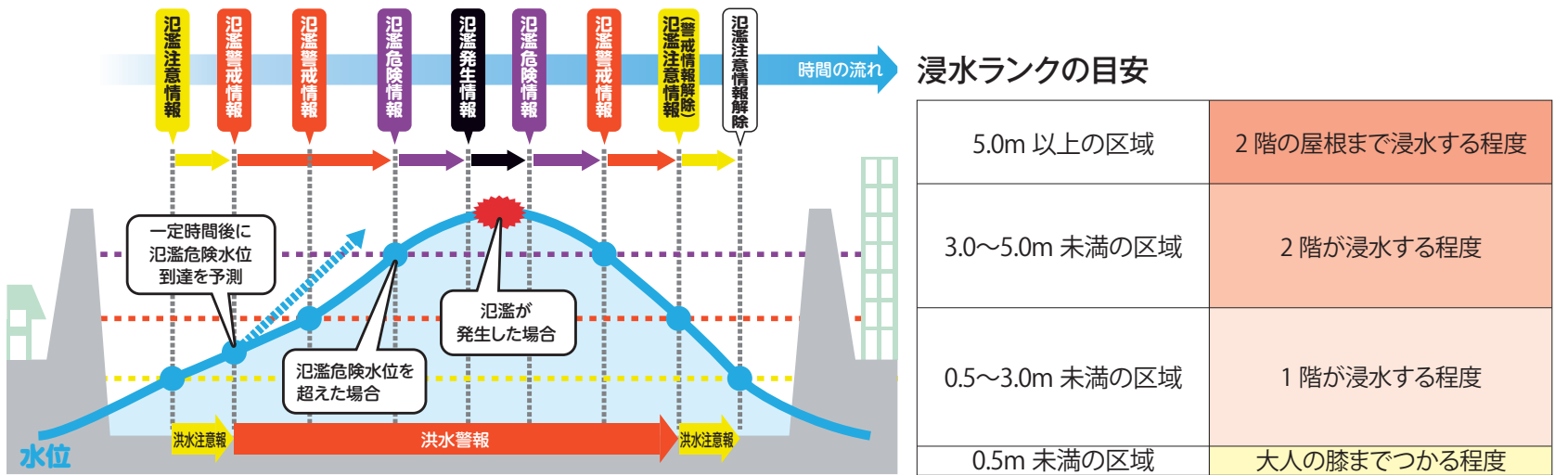
### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がは

けきれず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。

## 河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



## 避難行動のポイント、危険な場所

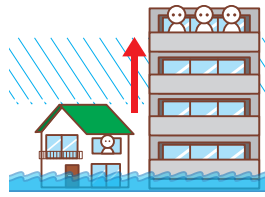
### ！ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



### ！ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。



### ！ やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



### ！ 川や用水路に近づかない

降雨が続く不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子を確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。



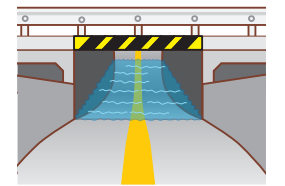
### ！ 地下室、地下街は危険

地下にいる場合、地上の様子が把握しづらく、避難経路が限定される。また、地上が冠水すると、一気に水が流れ込んでくる場合もある。停電の可能性も高く、脱出が困難となる。



### ！ アンダーパスは危険

道路や線路の下をくぐるアンダーパスや地下道は、洪水の際、真っ先に浸水する。場所を把握し、迂回路を想定しておく。



(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)



# 地震対策について

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル



**！とにかく自分の身を守ろう！**

### 地震だ！ まず身の安全

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。



**！しっかり火の始末で、火災防止！**

### 大揺れがおさまった

台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。



**！わが家の安全確認、確保！**

### 火の始末のあと

家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。



**！隣近所の安否確認、助け合い！**

### 外に出たあと

家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。



**！2,3日は自分でしのぐ！**

### 避難後、数日間

地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品(非常用品)を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。

## 屋内にいた場合

### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 揺れがおさまったら火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

### デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

### 劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてずに冷静な行動をとる。

### 集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



## 屋外にいた場合

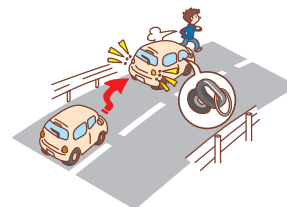
### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



### 車を運転中

- ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要な時は、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。



### 海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

### 電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりとつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外に出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

# ① 備蓄品および非常持ち出し品

避難するときに最初に持ち出すのが「非常持ち出し品」。  
 災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「備蓄品」です。  
 以下は一例です。とくに非常持ち出し品は、持って逃げられる量にしましょう。(男性15kg 女性10kgが目安)

## 非常持ち出し品

● とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきたい

### 貴重品

- ・現金 ※公衆電話用に硬貨も
- ・印鑑
- ・家や車の予備鍵
- ・証書類のコピー  
(健康保険証、免許証、通帳、保険証書、権利書など)

### 情報収集用品

- ・携帯ラジオ ※予備電池も
- ・携帯電話(スマートフォン)の充電器
- ・モバイルバッテリー ※ライト付きが便利
- ・筆記用具

### 非常飲食品など

- ・非常食 ※軽く高カロリーのもの
- ・飲料水
- ・給水袋
- ・万能ナイフ

### 衛生用品

- ・救急セット ※常備薬も
- ・タオル
- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・トイレトーパー
- ・ウェットティッシュ
- ・ビニール袋
- ・下着類

### 安全用品

- ・懐中電灯 ※予備電池も
- ・ヘルメット・防災ずきん
- ・軍手
- ・スリッパ
- ・笛やブザー ※居場所を知らせるもの
- ・マッチ・ライター
- ・毛布・保温シート
- ・使い捨てカイロ

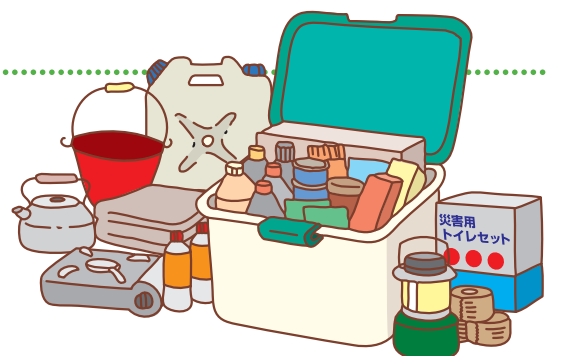


## 備蓄品

● 少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備

- ・飲料水 ※1人1日3ℓ
- ・食品 ※アルファ化米、長期保存食品など専用品の他、下記ローリングストックの活用を
- ・給水用ポリタンク・バケツ
- ・カセットコンロ・ガスボンベ
- ・使い捨ての食器類
- ・食品用ラップ

- ・ランタン
- ・災害用トイレセット
- ・からだ拭きシート
- ・水のいらぬシャンプー
- ・ガムテープ
- ・ビニールシート



上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。

## 定期的に点検を!

いざというときに支障がないように食品類の賞味期限や持ち出し品の不備を定期的に点検しましょう。

## ローリングストックについて

備蓄専用の保存食なども大切ですが、普段から少し多めに食料品や日用品を買っておき、使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の備蓄を自宅に確保しておくことをローリングストックと言います。日常生活の中に、非常備蓄を上手に組み込みましょう。

—対象品目の例—

- ペットボトルの水や飲み物、レトルト食品、
- インスタント食品、お菓子、乾麺、缶詰、乾物、漬物
- カセットコンロのボンベ、ウェットティッシュ、
- トイレトーパー、食品用ラップ、ビニール袋、
- 乾電池、使い捨てカイロ







# わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。  
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

## 家族の集合場所

集合場所	避難所・避難場所	連絡方法

## 家族の連絡先及び救急情報

氏名	続柄	電話番号(自宅・携帯)	電話番号(会社・学校)	生年月日	血液型	救急情報(持病・アレルギー・常備薬)
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	

## 親族・知人

氏名	間柄	電話番号

## かかりつけ医療機関

医療機関名	電話番号

## 緊急ダイヤル

消防へ火事・救急・  
救助の連絡

**119**

警察へ事件・  
事故の連絡

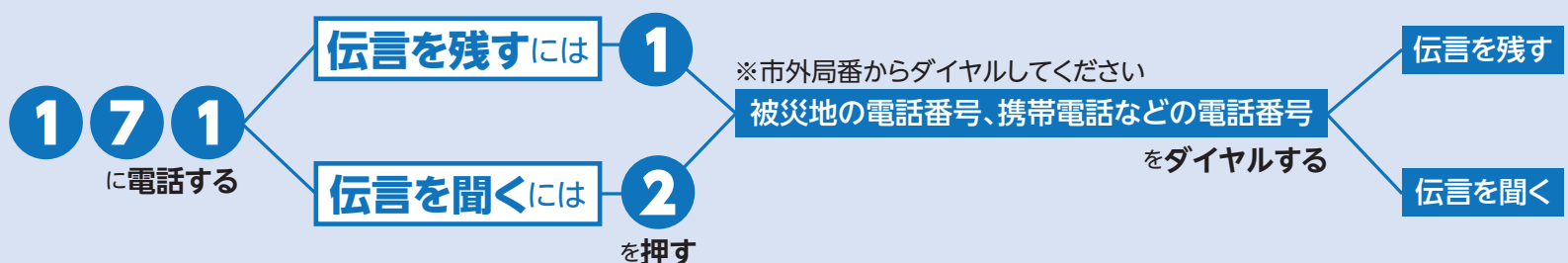
**110**

海上の事件・  
事故の連絡

**118**

## 災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります  
「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます



# 避難施設一覧

## 指定緊急避難場所

マップには赤字で表示しています。(例) ①下在公民館

番号	対象自主防災組織	施設・場所名	所在地	管理担当 連絡先	対象とする異常な 現象の種類				指定避難所 との重複	補足説明	掲載 マップ
					洪水	土砂 災害	地震	火災 大規模			
1	下在自主防災組織	下在公民館	世田米字田谷	46-2967	○		○	○		土砂災害の場合 世田米保育園	10
2		野形 T 字路付近	世田米字野形				○	○		洪水、土砂災害の場合 世田米保育園	10
3		和山 T 字路付近	世田米字山谷				○	○		洪水、土砂災害の場合 世田米保育園	10
4	中沢自主防災組織	中沢自治公民館	世田米字向村	46-2961	○	○	○	○			9
5		住田住宅産業付近	世田米字日向				○	○		洪水、土砂災害の場合 中沢自治公民館	11
6	曙自主防災組織	曙公民館	世田米字世田米駅	46-2992	○	○	○	○			11
7		住田地域診療センター	世田米字大崎	46-3121	○	○	○	○			11
8		農林会館	世田米字川向	46-2111	○	○	○	○	重複		11
9		旧農協世田米支店駐車場付近	世田米字世田米駅		○	○	○	○			11
10		世小の森公園付近	世田米字火石			○	○	○		洪水の場合 住田地域診療センター	11
11	愛宕自主防災組織	社会体育館	世田米字川向	46-3104	○	○	○	○	重複		11
12		世田米駅バス停付近	世田米字小口洞				○	○		洪水、土砂災害の場合 社会体育館	11
13	東峰自主防災組織	浄福寺付近	世田米字清水沢	46-2615	○	○	○	○			11
14		柿内沢集会所	世田米字高貝				○	○		洪水、土砂災害の場合 社会体育館	9
15		イーガストすみだ付近	世田米字赤畑	47-5666			○	○		洪水、土砂災害の場合 社会体育館	8
16	川口自主防災組織	住田高等学校	世田米字川口	46-3141	○	○	○	○	重複		8
17		天風バス停付近	世田米字天風				○	○		洪水、土砂災害の場合 住田高等学校	8
18	小股自主防災組織	小股自治公民館	世田米字小股		○		○	○		土砂災害の場合 住田高等学校	7、8
—		住田高等学校	世田米字川口	46-3141	○	○	○	○	重複		8
19	大股自主防災組織	大股地区公民館	世田米字下大股	47-2403	○		○	○	重複	土砂災害の場合 住田高等学校	7
20	中井自主防災組織	中井自治公民館	世田米字高屋敷				○	○		洪水、土砂災害の場合 住田高等学校	7
21	姥石自主防災組織	種山集会センター	世田米字子飼沢		○	○	○	○			7
22	月山自主防災組織	月山公民館	下有住字高瀬	48-2840	○		○	○		土砂災害の場合 上有住地区公民館	4
23	火の土自主防災組織	火の土自治公民館	下有住字火の土	48-2410	○		○	○		土砂災害の場合 上有住地区公民館	4
24	外館自主防災組織	生涯スポーツセンター	下有住字中上	49-5007	○		○	○	重複	土砂災害の場合 上有住地区公民館	4
25	新切自主防災組織	新切公民館	下有住字新切	48-2408	○	○	○	○			1
26	両向自主防災組織	新田山開拓記念館	上有住字新田		○	○	○	○			2
27		両向自治公民館	上有住字中井		○	○	○	○			5
28	恵山自主防災組織	有住保育園	上有住字山脈地	48-2704	○	○	○	○	重複		5
29		上有住地区公民館	上有住字山脈地	48-2013	○	○	○	○	重複		5
30	坂本自主防災組織	坂本自治公民館	上有住字長者洞	48-3054	○		○	○		土砂災害の場合 有住保育園	2
31		坂本第1集会所	上有住字百合ヶ沢		○		○	○		土砂災害の場合 有住保育園	2
32	八日町自主防災組織	上有住集会センター	上有住字八日町	48-2847	○		○	○		土砂災害の場合 上有住地区公民館	5
33	天嶽自主防災組織	天嶽地区コミュニティセンター	上有住字天嶽	48-2462	○	○	○	○			5
34	寒倉自主防災組織	寒倉自治公民館	上有住字上寒倉		○		○	○		土砂災害の場合 五葉地区公民館	6
35	五葉中自主防災組織	五葉地区公民館	上有住字中坪	48-2375		○	○	○	重複	洪水の場合 五葉集会センター	6
36		五葉集会センター	上有住字中沢		○	○	○	○			6
37		羅象館	上有住字松山		○		○	○		土砂災害の場合 五葉地区公民館又は 五葉集会センター	6
38	大洞自主防災組織	大祝バス停付近	上有住字土倉				○	○		洪水の場合 大洞自治公民館 又は五葉集会センター 土砂災害の場合 五葉地区公民館 又は五葉集会センター	3
39		大洞自治公民館	上有住字土倉		○		○	○		土砂災害の場合 五葉地区公民館 又は五葉集会センター	3

# 避難施設一覧

## 避難所

マップには青文字で表示しています。(例) ①住田町役場

番号	地区	避難対象自主防災組織	施設・場所名	住所	管理担当 連絡先	緊急避難場所 との重複	AED	掲載 マップ
1	全域	町内全域	住田町役場	世田米字川向 88-1	46-2111		○	11
2		町内全域	農林会館	世田米字川向 96-5	46-2111	重複	○	11
3		町内全域	保健福祉センター	世田米字川向 96-5	46-2111		○	11
4	世田米	愛宕、曙	社会体育館	世田米字川向 69-1	46-3104	重複	○	11
5		東峰、愛宕	世田米小学校体育館	世田米字川向 55-1	46-3135		○	11
6		中沢、曙	世田米中学校体育館	世田米字大崎 72-1	46-3155		○	11
7		下在、曙	世田米保育園	世田米字火石 33-1	46-3049		○	11
8		川口	住田高等学校体育館	世田米字川口 12-1	46-3141	重複		8
9	下有住	小股、大股、中井、姥石	大股地区公民館	世田米字下大股 66-1	47-2403	重複		7
10		火の土、月山、外館、新切	下有住地区公民館	下有住字中上 100-5	48-2531			4
11		火の土、月山、外館、新切	生涯スポーツセンター	下有住字中上 291	49-5007	重複	○	4
12	上有住	両向、恵山	有住中学校体育館	上有住字櫃割 12-1	48-2020		○	5
13		坂本、恵山	有住保育園	上有住字山脈地 107-1	48-2704	重複	○	5
14		八日町、天嶽、恵山	上有住地区公民館	上有住字山脈地 15-1	48-2013			5
15		坂本、八日町、天嶽	有住小学校体育館	上有住字山脈地 5-2	48-2014		○	5
16		寒倉、五葉中、大洞	五葉地区公民館	上有住字中卒 63	48-2375	重複		6

### 緊急避難場所

災害が発生し、または、発生するおそれがあるときに、その危険から逃れるために、緊急的に一時避難する場所のことをいいます。

### 避難所

災害の危険性があり避難した人たちが、災害の危険性がなくなるまで、滞在する施設、または、災害により自宅に戻れなくなった人たちが、一時的に滞在する施設のことをいいます。

※ 避難が必要になったときは、まず**緊急避難場所**へ、その後**避難所**へと状況に応じ避難して下さい。

## 自宅の外へ避難する際の留意点

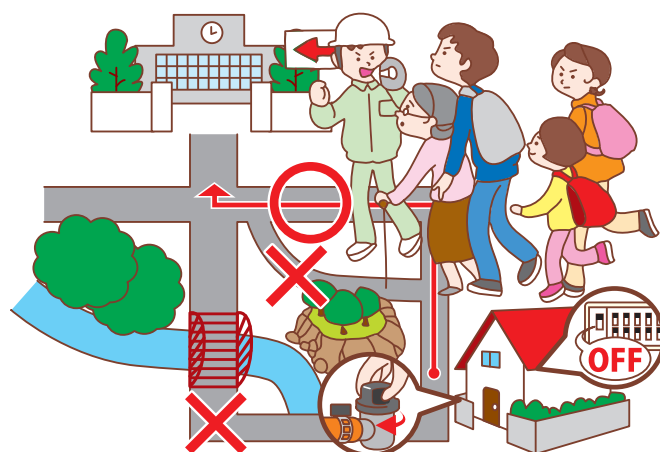
### ！ 避難するときの服装

- ヘルメット、帽子等をかぶる。
- 非常持ち出し袋はリュックサックに入れて背負う。(両手が使えるように)
- 長袖・長ズボンを着用する。
- 軍手や手袋をはめる。
- 靴は底の厚い、履き慣れたものを着用する。(水害時は長靴は水が溜まると動きにくくなるので、はかない。)
- やむをえず夜間に移動する場合は懐中電灯を持つ。

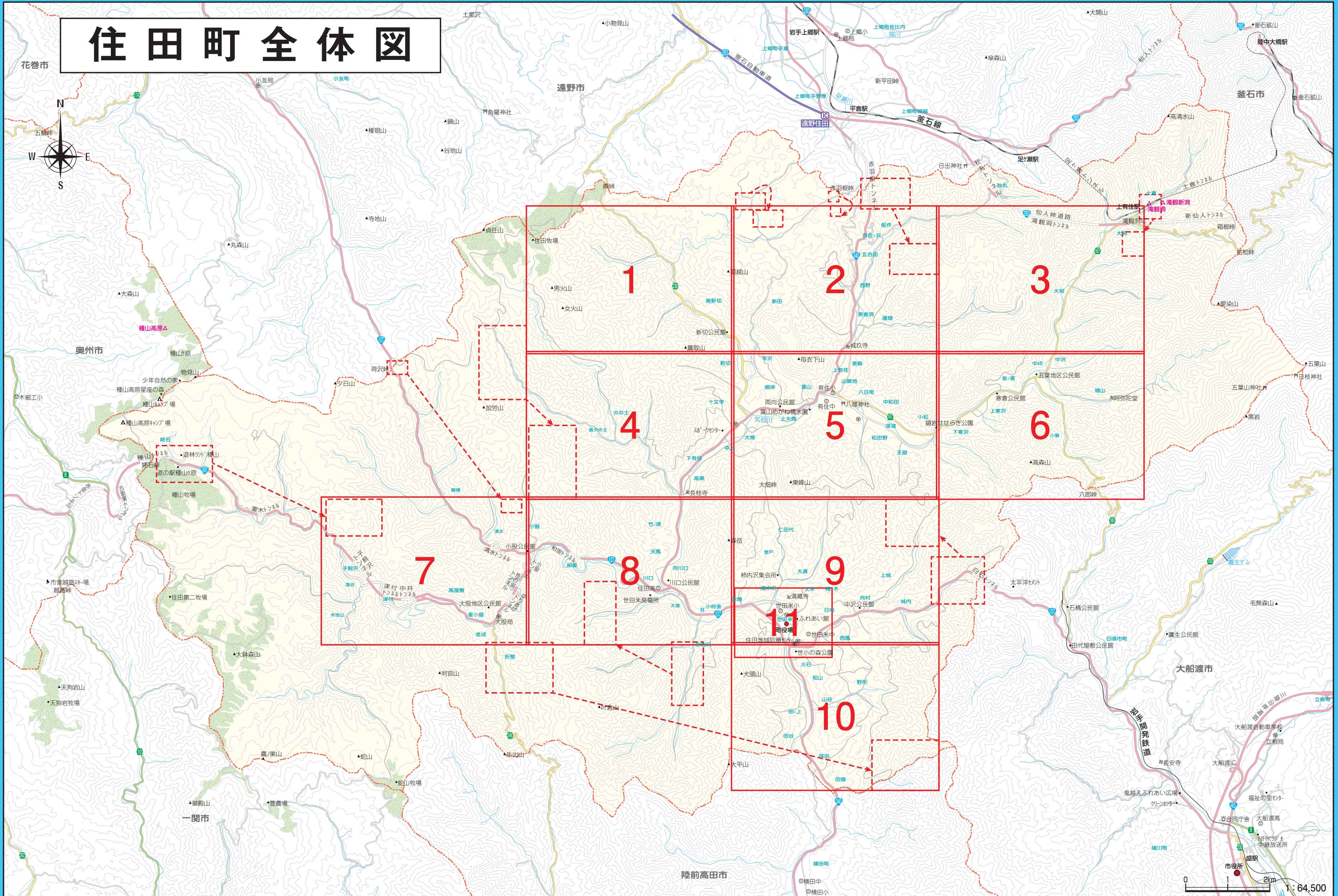


### ！ 避難時のポイント

- 自宅を離れる前にもう一度火元を確認する。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。
- 持ち出す荷物は最小限にする。
- 近所の人に声をかけ、複数人で行動する。
- 避難先へは、徒歩で移動する。  
(自動車、自転車はできる限り使用しない)
- 狭い道やブロック塀、自動販売機のそば、川べり、ガラスや看板の多い場所を避ける。
- 子供、障害者、高齢者など避難行動要配慮者がはぐれないよう配慮をしながら避難する。



# 住田町全体図



1	2
4	5

土砂災害凡例

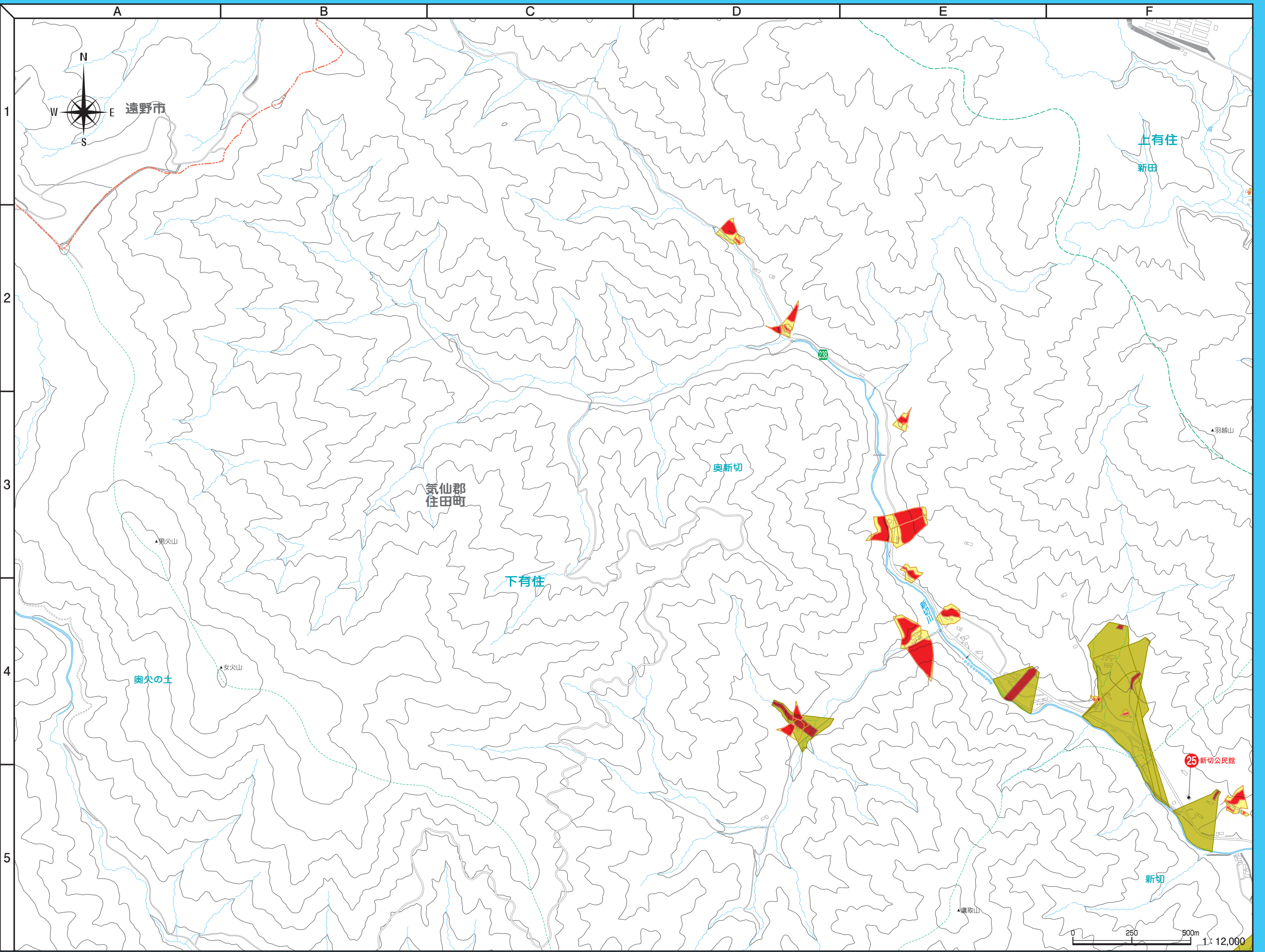
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

河川浸水域凡例

- 気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。
- 前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満
  - 3.0~5.0m未満
  - 0.5~3.0m未満
  - 0.5m未満
- 浸水深の表示と配色は  
「洪水浸水想定区域図マニュアル  
(国土交通省・国土技術政策総合  
研究所)」による

避難施設凡例

- 指定緊急避難場所
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。



1	2	3
4	5	6

## 土砂災害凡例

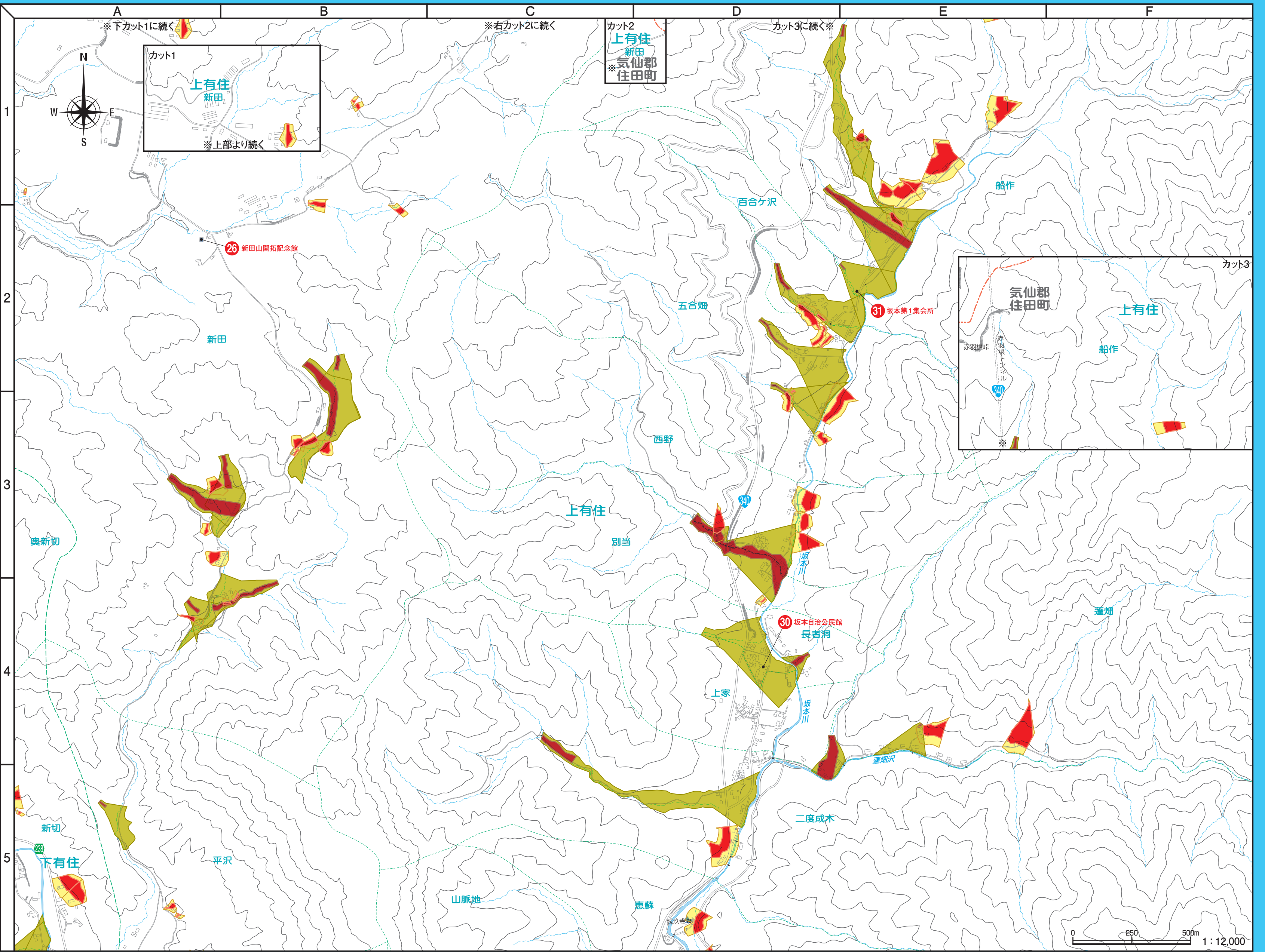
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

## 河川浸水域凡例

- 気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。
- 前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満
  - 3.0~5.0m未満
  - 0.5~3.0m未満
  - 0.5m未満
- 浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

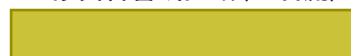
## 避難施設凡例


- 指定緊急避難場所**
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所**
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。

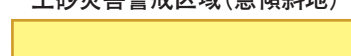



2	3
5	6

**土砂災害凡例**

土砂災害警戒区域(土石流)  


土砂災害特別警戒区域(土石流)  



土砂災害警戒区域(急傾斜地)  



土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)  


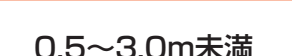
**河川浸水域凡例**


気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。

前提となる降雨  
 気仙川流域の2日間  
 総雨量 266.8mm

5.0~10.0m未満  


3.0~5.0m未満  


0.5~3.0m未満  


0.5m未満  


浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

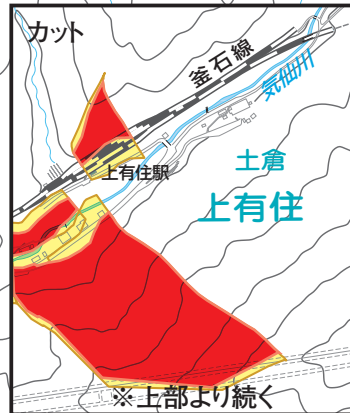
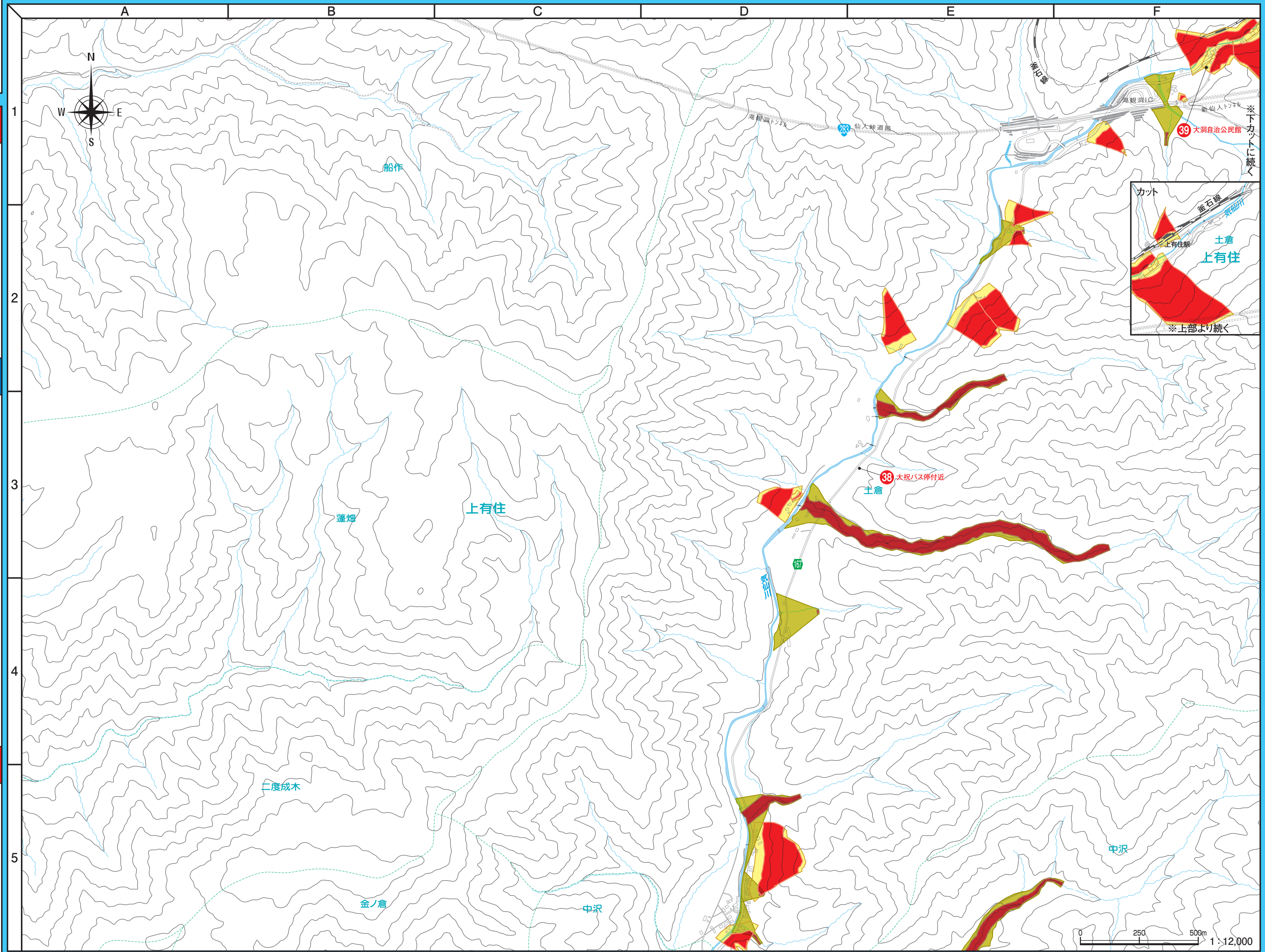
**避難施設凡例**

**指定緊急避難場所**

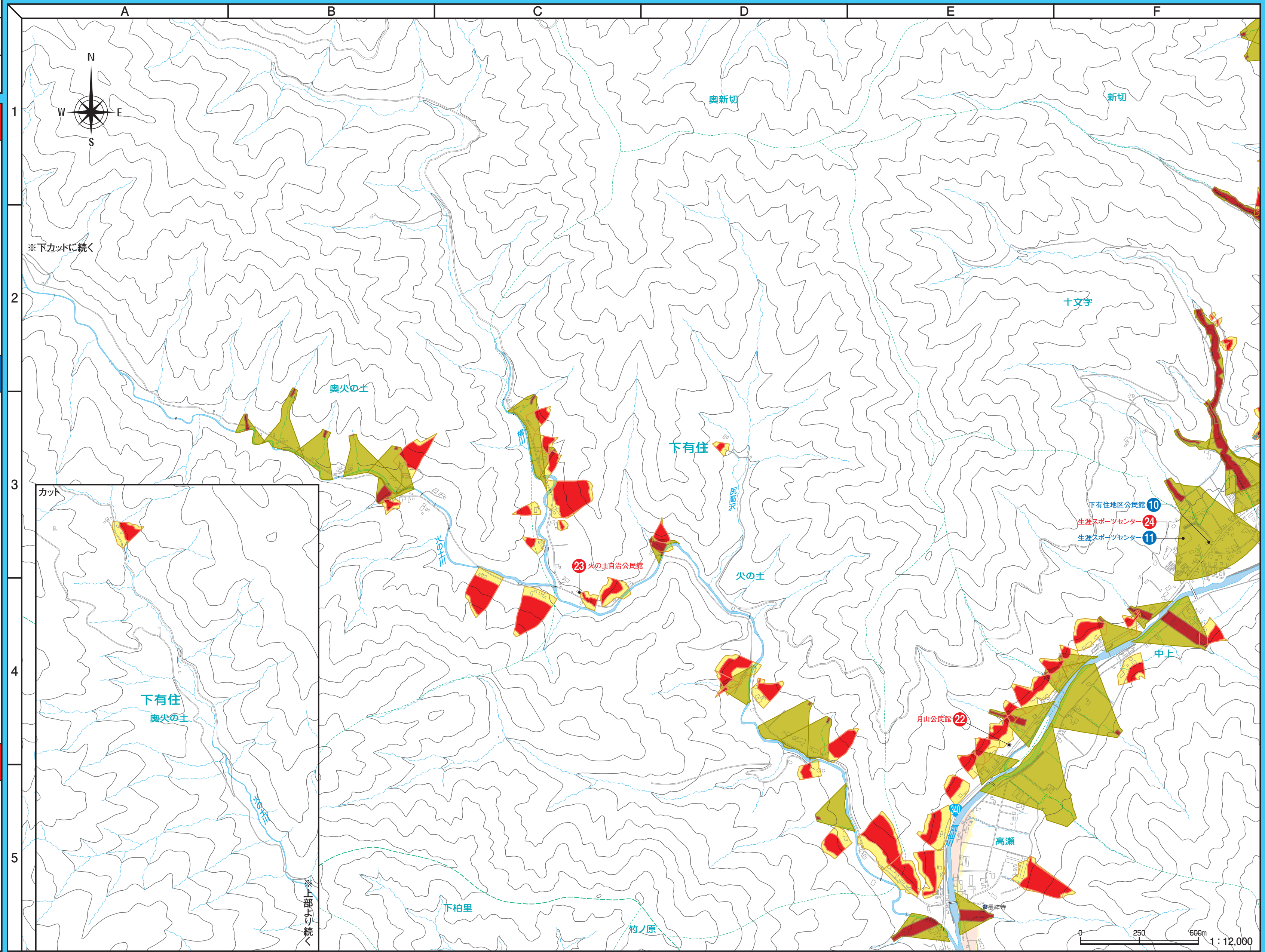
① 赤数字と名称で表示  
**避難所**

① 青数字と名称で表示

避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。



	1	2
	4	5
7	8	9



土砂災害凡例

- 土砂災害警戒区域(土石流) [Yellow box]
- 土砂災害特別警戒区域(土石流) [Red box]
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地) [Yellow box]
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地) [Red box]

河川浸水域凡例

- 気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。  
前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満 [Orange box]
  - 3.0~5.0m未満 [Light orange box]
  - 0.5~3.0m未満 [Lighter orange box]
  - 0.5m未満 [Yellow box]
- 浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

避難施設凡例

- 指定緊急避難場所
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。



1	2	3
4	5	6
8	9	

土砂災害凡例

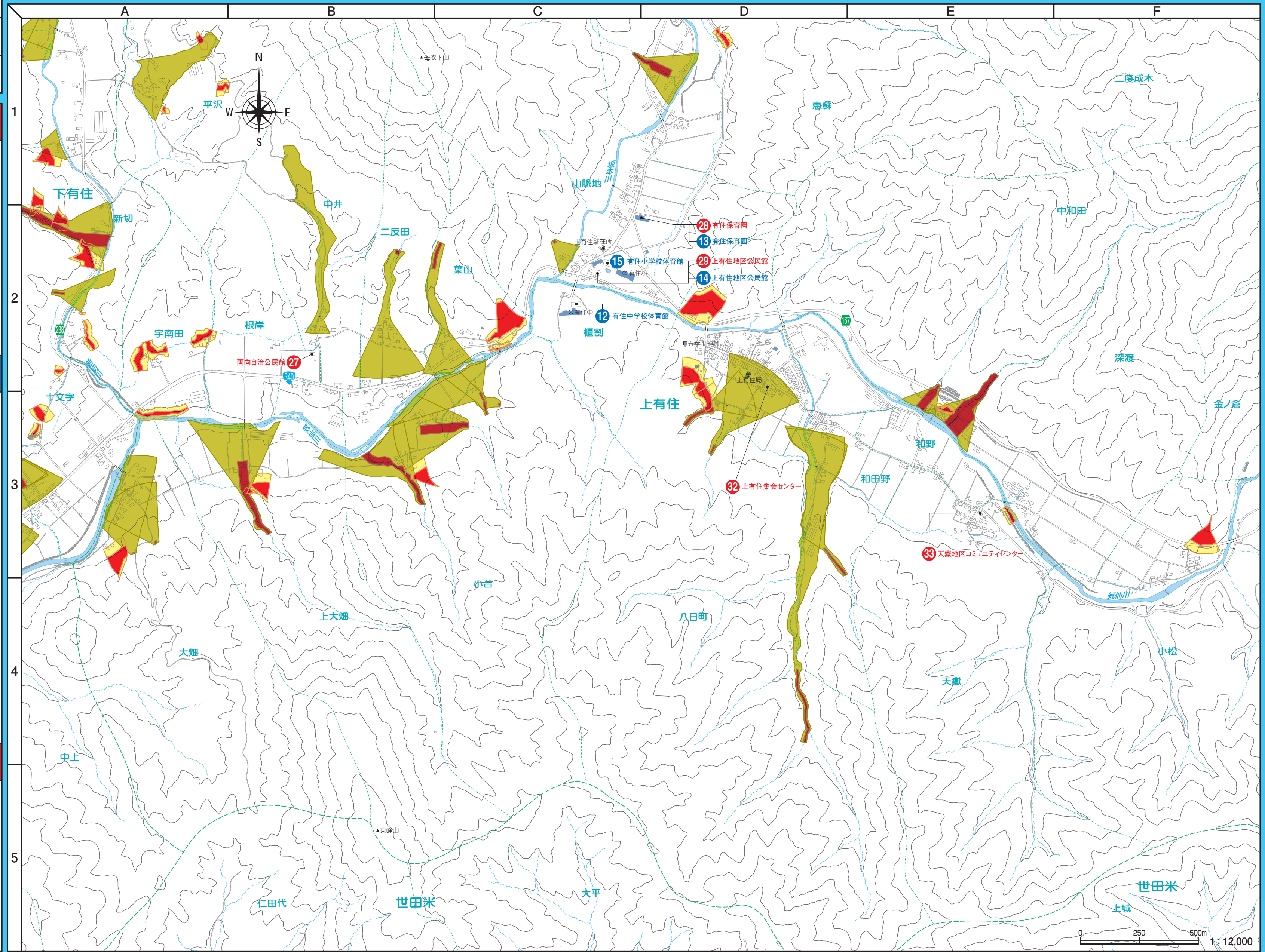
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

河川浸水域凡例

- 気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。
- 前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満
  - 3.0~5.0m未満
  - 0.5~3.0m未満
  - 0.5m未満
- 浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

避難施設凡例

- 指定緊急避難場所
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。



2	3
5	6
9	

土砂災害凡例

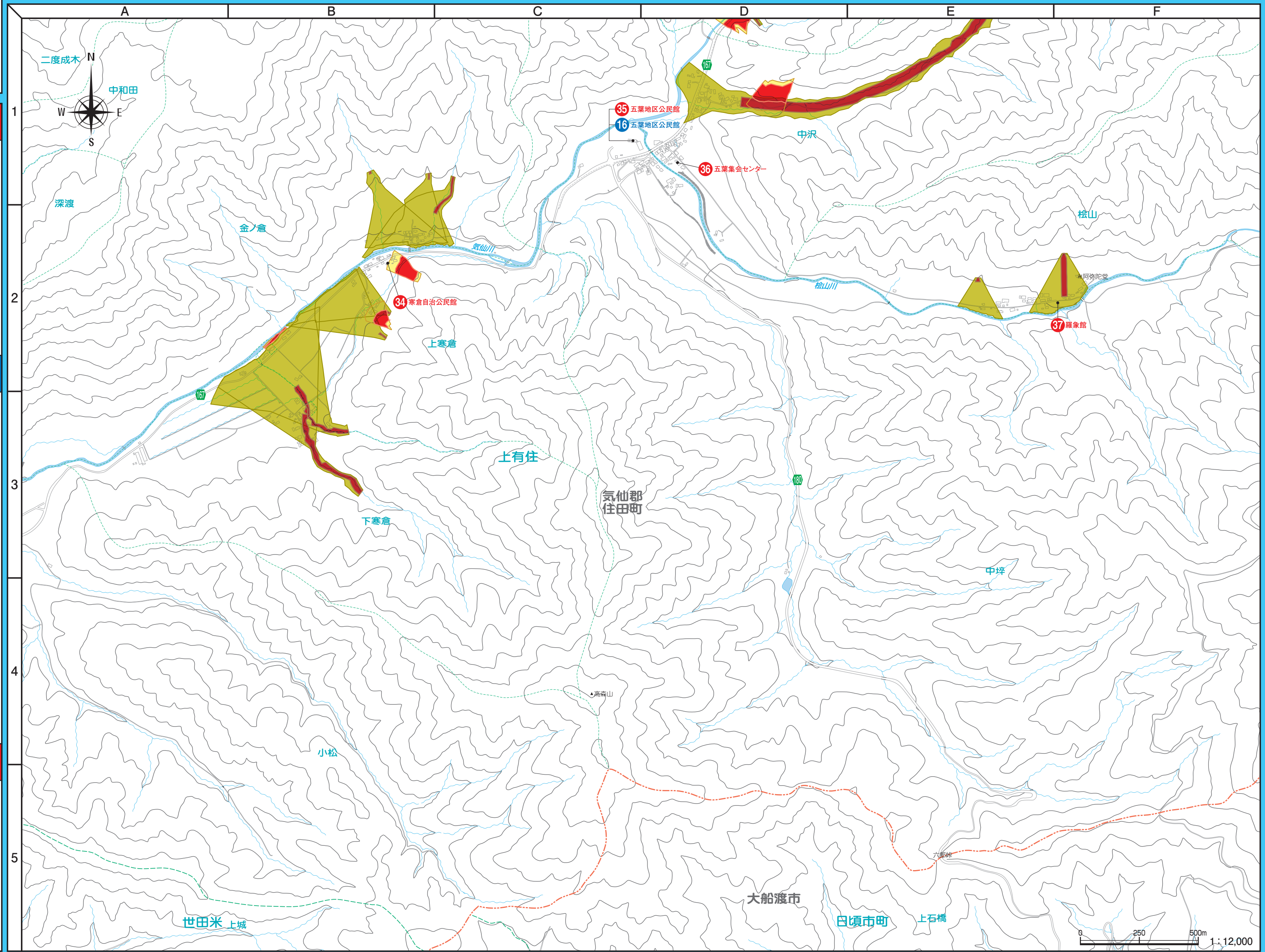
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

河川浸水域凡例

- 気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。
- 前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満
  - 3.0~5.0m未満
  - 0.5~3.0m未満
  - 0.5m未満
- 浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

避難施設凡例

- 指定緊急避難場所**
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所**
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。



4  
7 8

## 土砂災害凡例

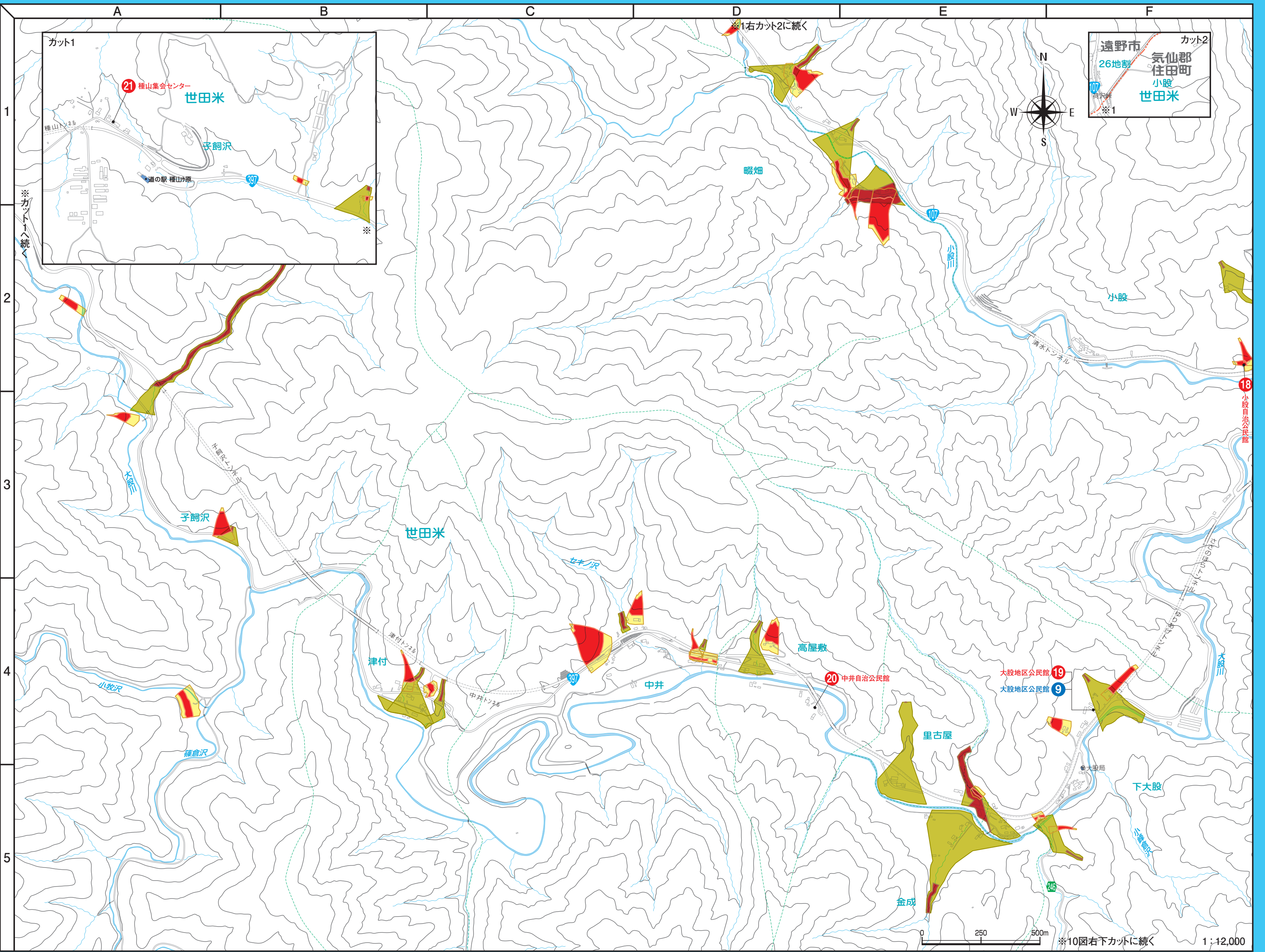
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

## 河川浸水域凡例

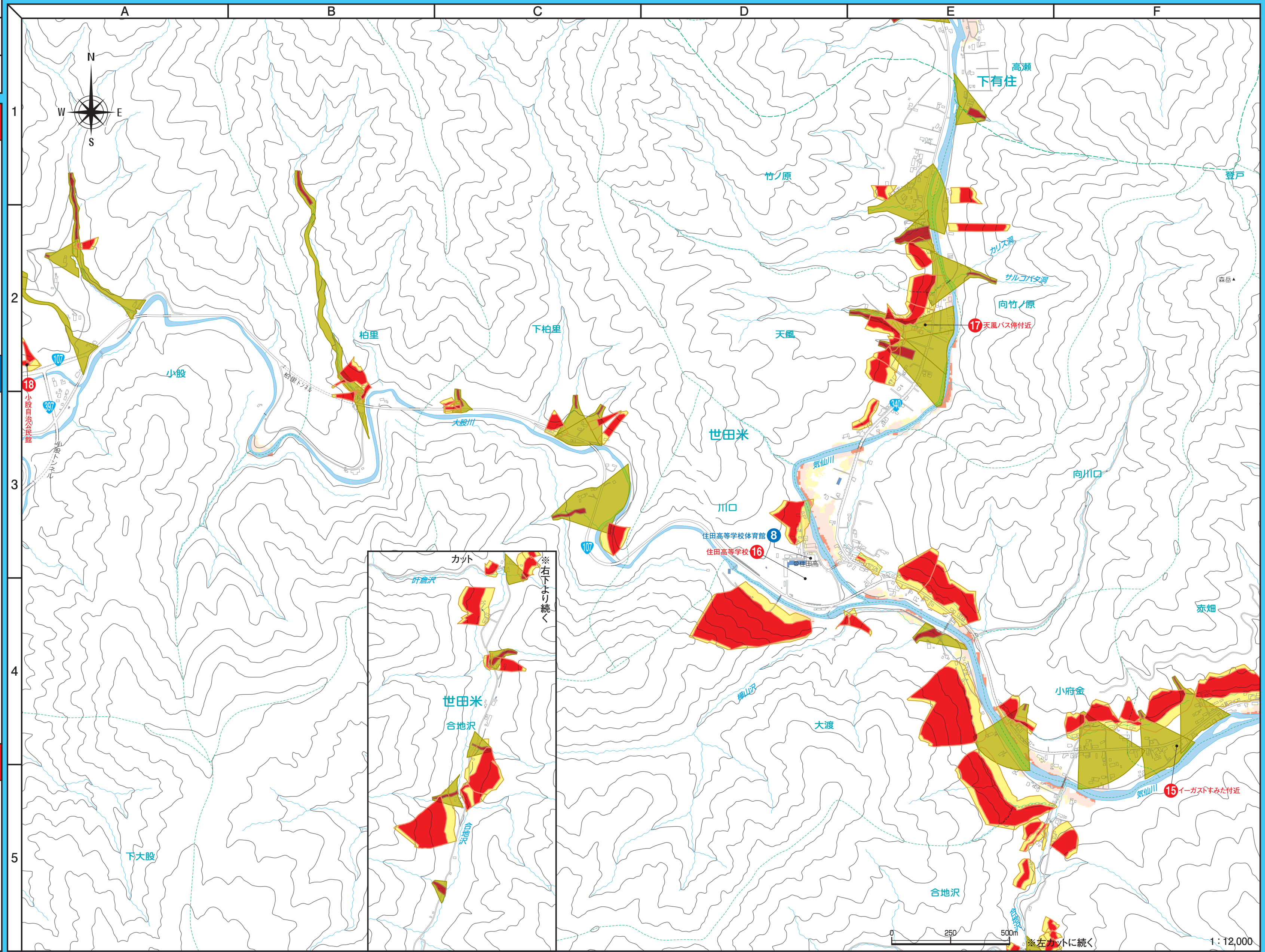
- 気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。
- 前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満
  - 3.0~5.0m未満
  - 0.5~3.0m未満
  - 0.5m未満
- 浸水深の表示と配色は  
「洪水浸水想定区域マニュアル  
(国土交通省・国土技術政策総合  
研究所)」による

## 避難施設凡例

- 指定緊急避難場所**
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所**
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。



	4	5
7	8	9
		10



土砂災害凡例

- 土砂災害警戒区域(土石流) [Green box]
- 土砂災害特別警戒区域(土石流) [Red box]
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地) [Yellow box]
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地) [Red box]

河川浸水域凡例

- 気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。
- 前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満 [Orange box]
  - 3.0~5.0m未満 [Light orange box]
  - 0.5~3.0m未満 [Lighter orange box]
  - 0.5m未満 [Yellow box]
- 浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

避難施設凡例

- 指定緊急避難場所
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。

4	5	6
8	9	
	10	

土砂災害凡例

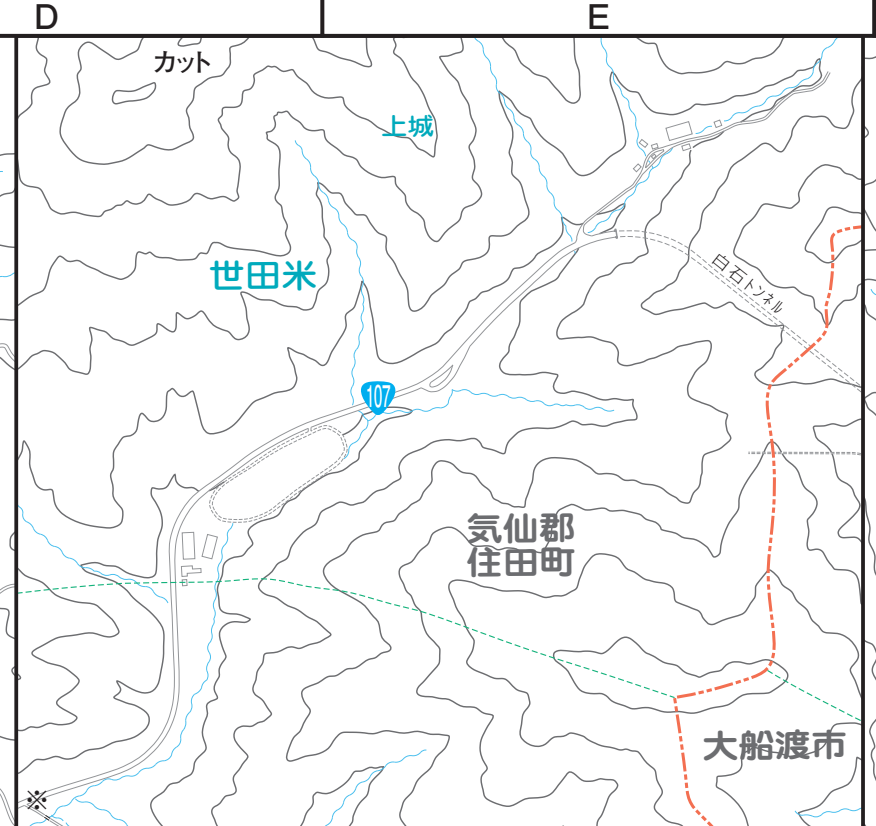
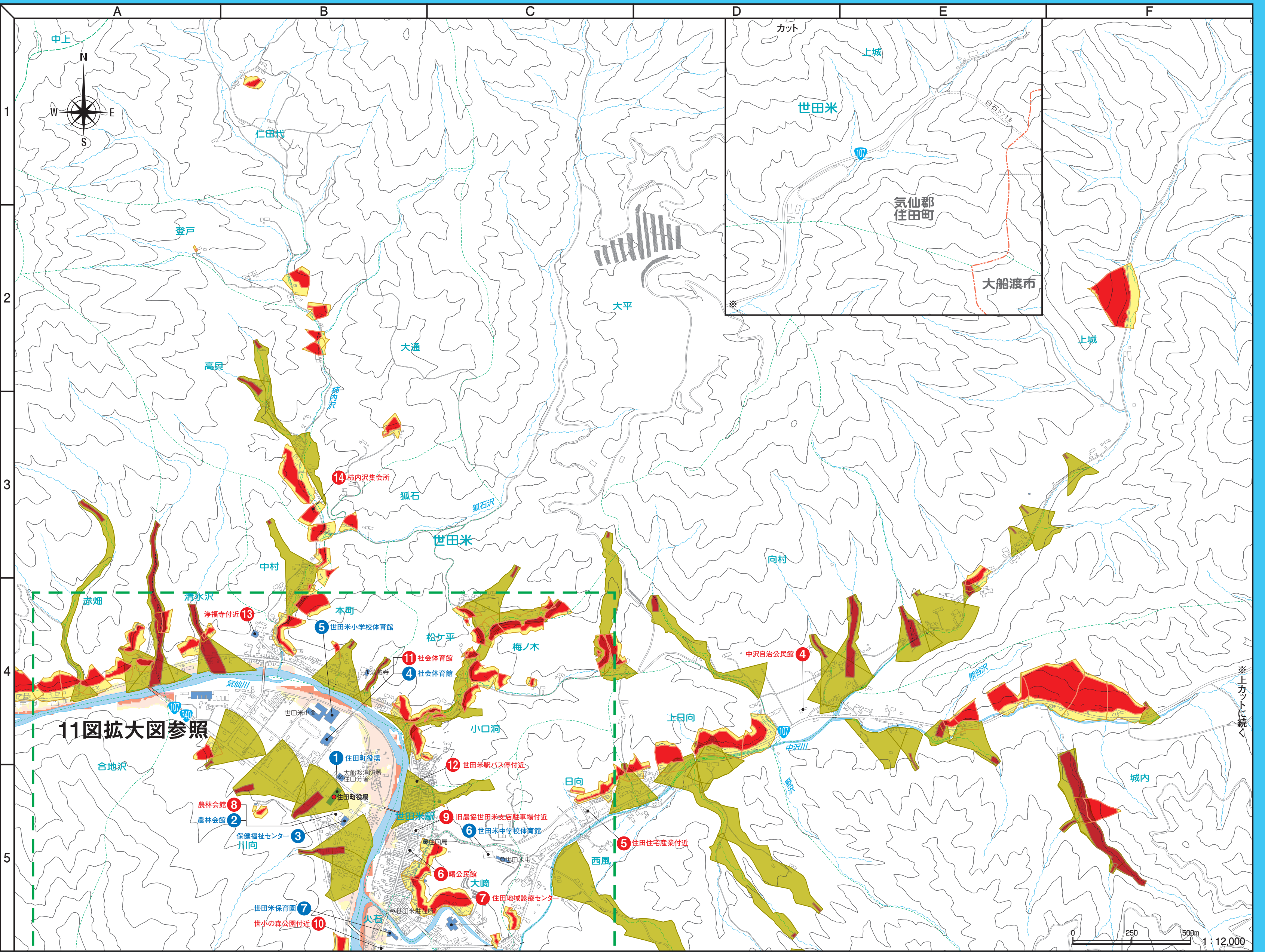
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

河川浸水域凡例

- 気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。
- 前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満
  - 3.0~5.0m未満
  - 0.5~3.0m未満
  - 0.5m未満
- 浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

避難施設凡例

- 指定緊急避難場所
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。



11図拡大図参照



土砂災害凡例

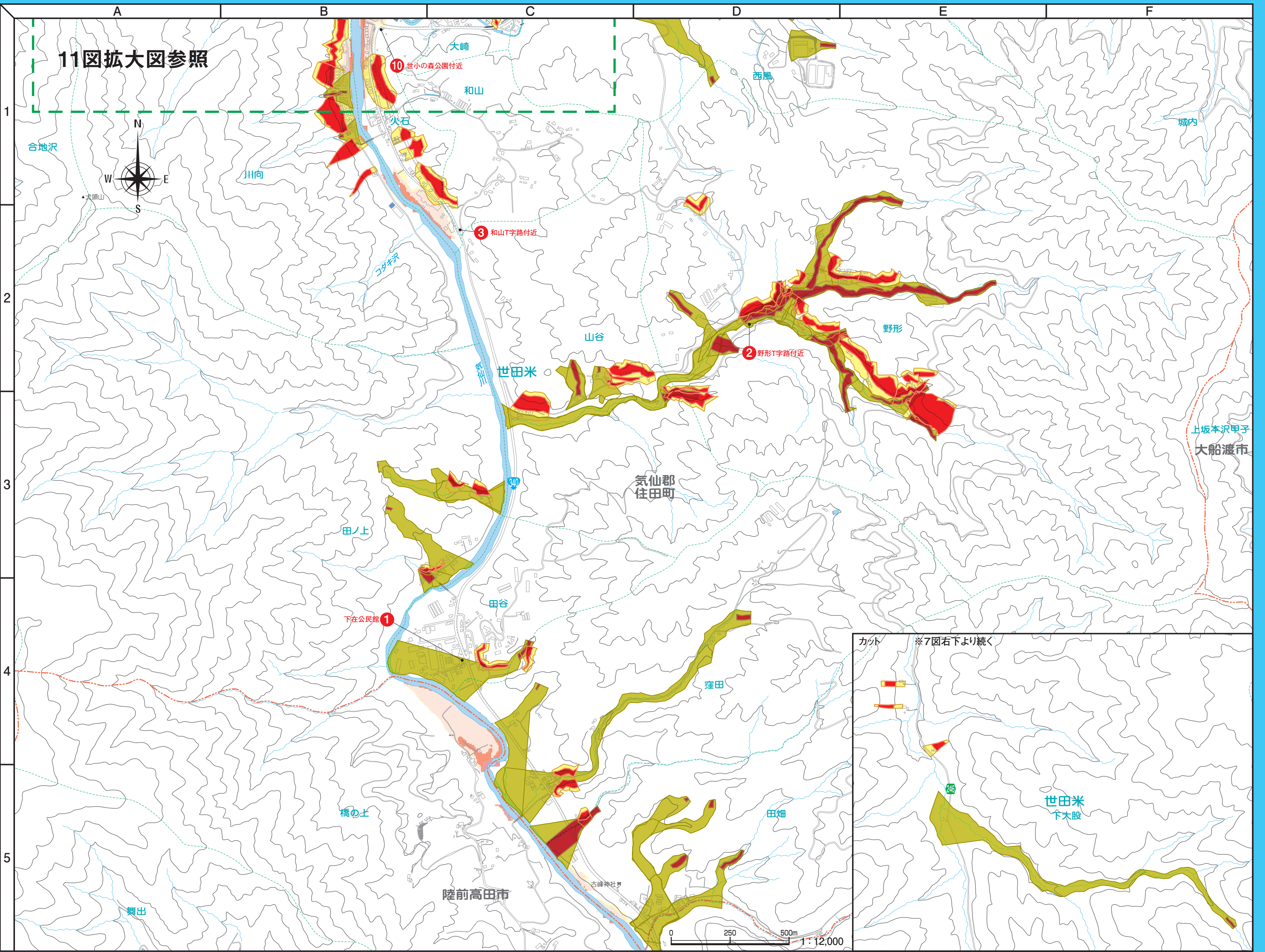
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

河川浸水域凡例

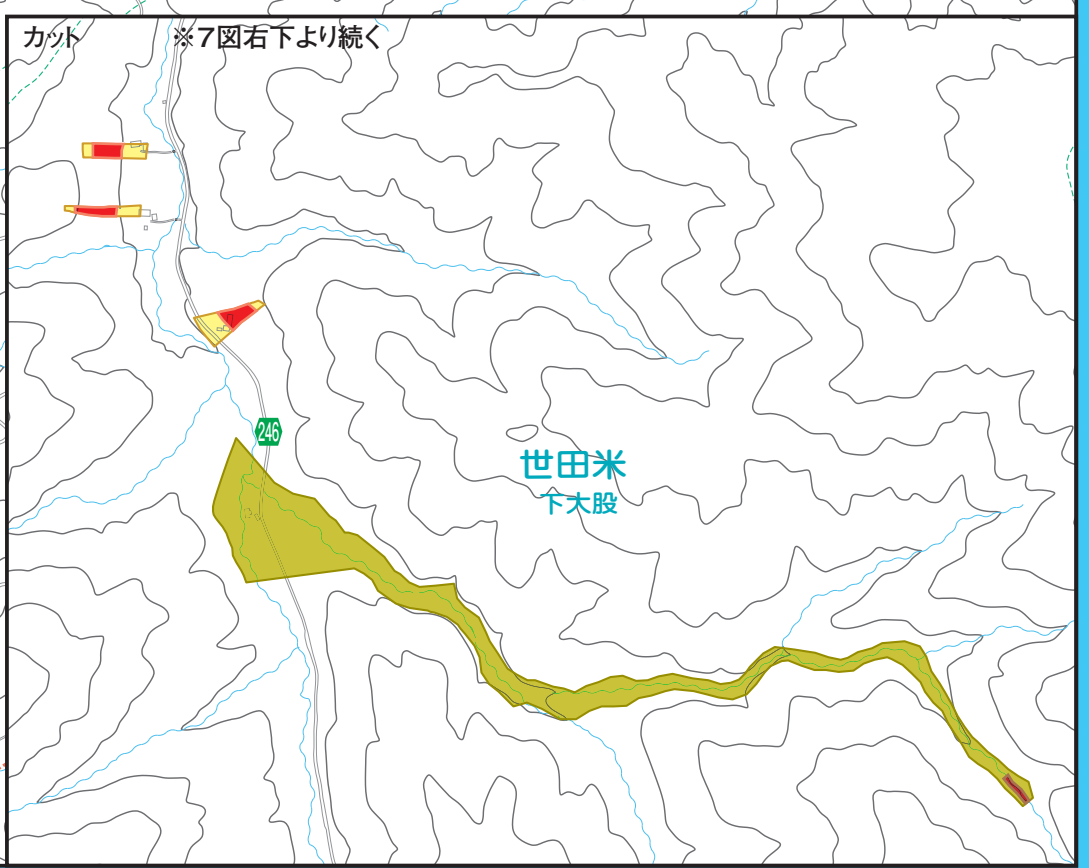
- 気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。
- 前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満
  - 3.0~5.0m未満
  - 0.5~3.0m未満
  - 0.5m未満
- 浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

避難施設凡例

- 指定緊急避難場所
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。



11図拡大図参照



土砂災害凡例

- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)

河川浸水域凡例

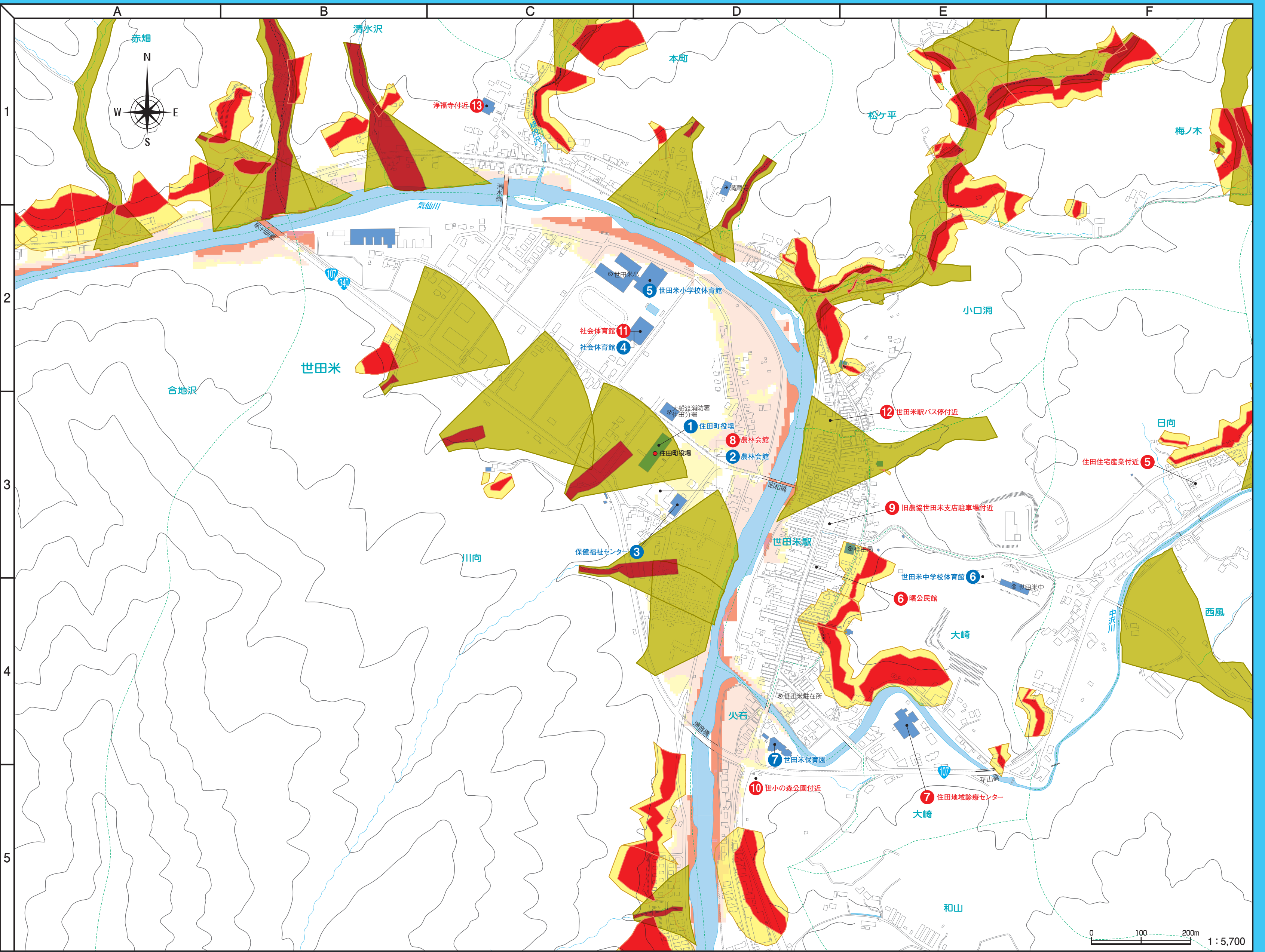
気仙川と大股川の計画降雨により浸水が想定される区域及び推進を表示しています。

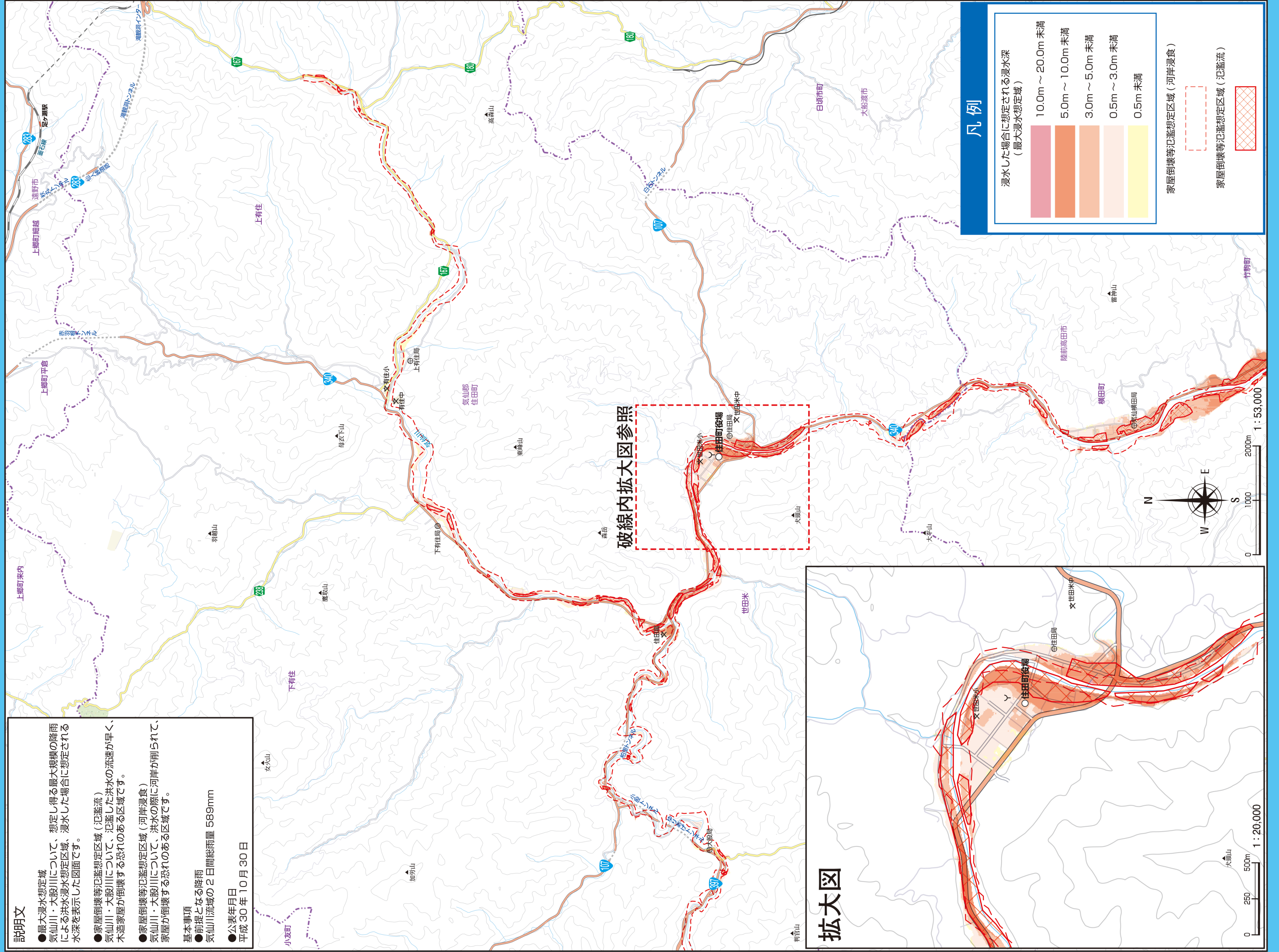
- 前提となる降雨  
気仙川流域の2日間  
総雨量 266.8mm
- 5.0~10.0m未満
  - 3.0~5.0m未満
  - 0.5~3.0m未満
  - 0.5m未満

浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」による

避難施設凡例

- 指定緊急避難場所
- ① 赤数字と名称で表示
- 避難所
- ① 青数字と名称で表示
- 避難場所・避難所の詳細情報はP9、P10をご覧ください。





説明文

●最大浸水想定域  
気仙川・大股川について、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

●家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)  
気仙川・大股川について、氾濫した洪水の流速が早く、木造家屋が倒壊する恐れのある区域です。

●家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)  
気仙川・大股川について、洪水の際に河岸が削られて、家屋が倒壊する恐れのある区域です。

基本事項

●前提となる降雨

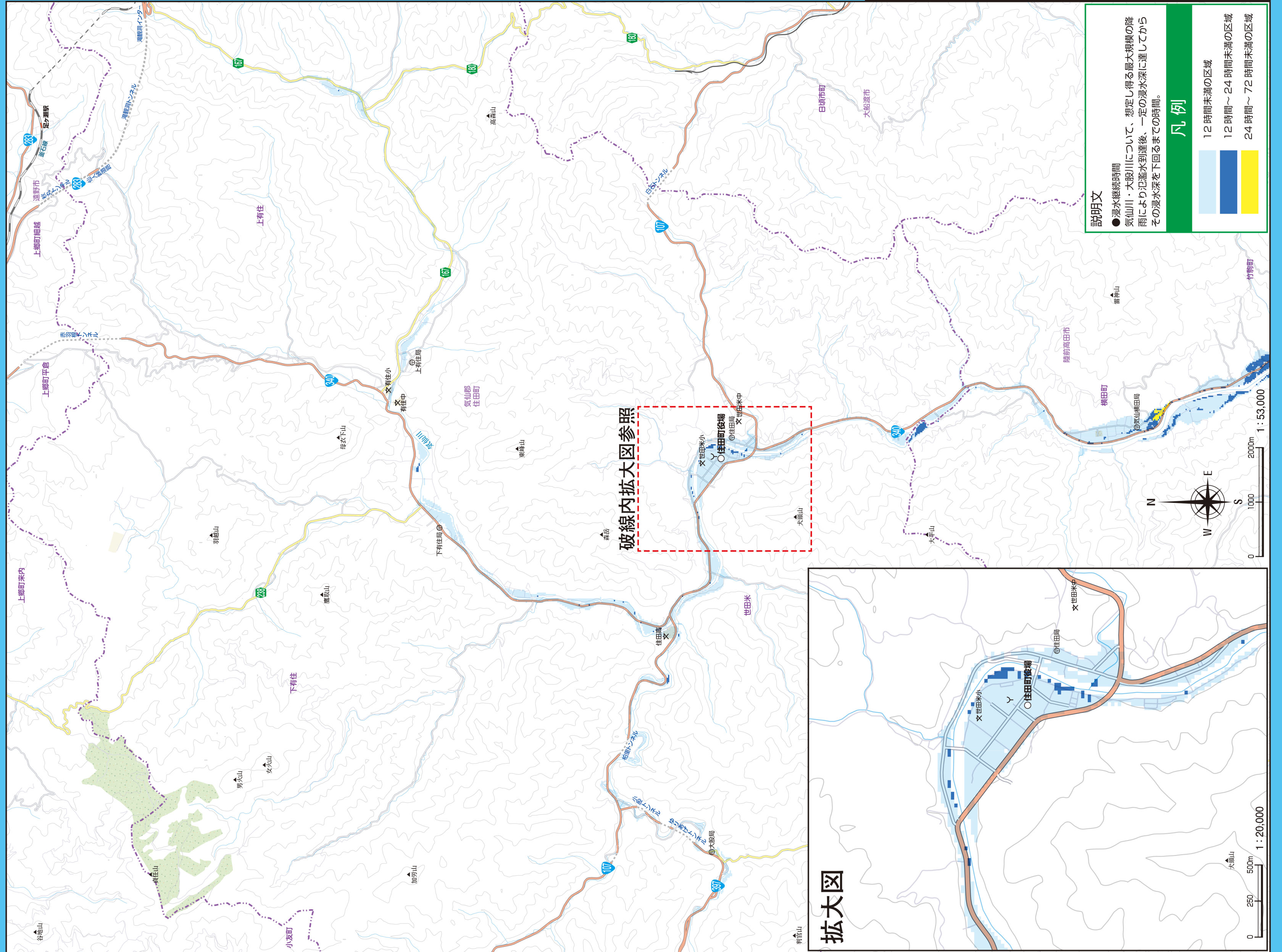
気仙川流域の2日間総雨量 589mm

●公表年月日

平成30年10月30日

拡大図





## 情報収集方法

### 国交省「防災情報提供センター」

<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>  
 携帯電話から <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

### 国交省「川の防災情報」

<https://www.river.go.jp/>

### 気象庁キキクル（危険度分布）通知サービス

どこで土砂災害や浸水害・洪水の危険度が高まっているかを知ることが出来る、命を守るための情報です。

<http://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

### 盛岡地方気象台

<https://www.data.jma.go.jp/morioka/index.html>

### 住田町ホームページ

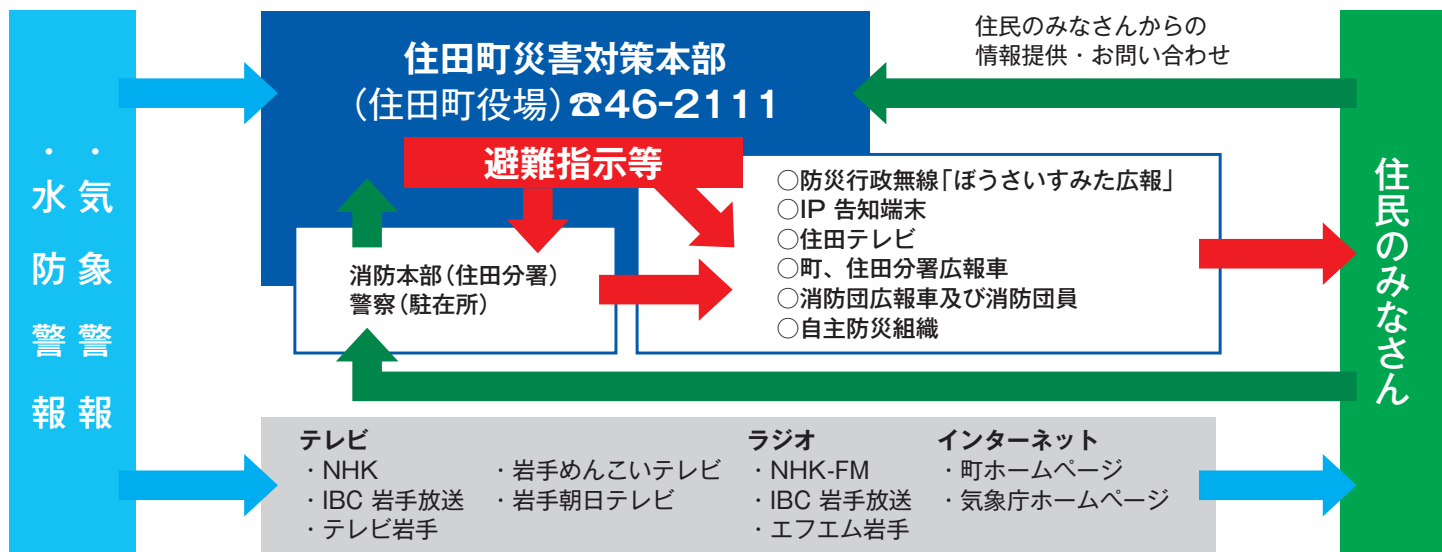
<https://www.town.sumita.iwate.jp/>

### 岩手防災情報ポータル

<https://iwate.secure.force.com/>



## 情報の伝達ルート



## 防災関係機関連絡先

住田町役場	0192-46-2111(代)
大船渡消防署住田分署	0192-46-2119
大船渡警察署	0192-26-0110(代)
大船渡警察署世田米駐在所	0192-46-3110
大船渡警察署上有住駐在所	0192-48-2301

大船渡地域振興センター	0192-27-9911
沿岸広域振興局大船渡土木センター	0192-27-9919
沿岸広域振興局住田整備事務所	0192-22-8182
大船渡保健所	0192-27-9913

## 住田町防災マップ

令和4年3月

発行 住田町 総務課  
 気仙郡住田町世田米字川向88番地1  
 TEL 0192-46-2112  
 FAX 0192-46-3515

制作・著作 株式会社ゼンリン 盛岡営業所  
 盛岡市中央通2丁目1番21号  
 TEL 019-622-7230  
 FAX 019-622-2115

無断で複写、転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

「この地図の作成に当たっては、岩手県知事の承認を得て、5千分の1地形図を使用した。(令和元年12月17日森整第514号)  
 [測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 2JHs 293-851号]

本文中の地図は、弊社2020年5月発行の住宅地図住田町のデータをもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報も加えて制作しています。

作成には細心の注意を払い、編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり、日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また、目標物は見やすさを優先し、正式名称などを一部割愛して掲載しています。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。